

横浜市下水道事業中期経営計画2026 (原案) について

1 これまでの経過

- 令和7年8月25日 第2回経営研究会〔次期計画の考え方〕
- 9月17日 市会報告（令和7年第3回定例会 常任委員会）〔基本的な考え方〕
- 11月17日 第3回経営研究会〔市民に伝わりやすい中期経営計画〕
- 令和8年1月21日 第4回経営研究会〔素案〕
- 2月13日 市会報告（令和8年第1回定例会 常任委員会）〔素案〕
- 2～3月 市民意見募集

2 研究会でいただいた意見に対する考え方

いただいた意見等	いただいた意見に対する考え方
<p>キャッシュの動きが明確に示されていないため、実際に資金がどう動くのかわかりにくいと感じる。キャッシュの出入りを含めた実態をより分かりやすく可視化して示す必要があるのではないか。</p>	<p><u>原案に累積資金の動きについて図解を追記しました。</u></p>
<p>資金は400億円で十分か。安全と考えられる資金残高の水準について、どの程度の検討や分析が行われているのか。</p>	<p>下水道事業経営研究会（第9期）でのご議論を踏まえ、災害等の不測の事態においても下水道事業の継続が可能となる水準として累積資金残高を400億円としています。 <u>400億円の考え方についてコラムとして追記しました。</u></p>
<p>前回の案と比べて、全体的に非常に分かりやすくなった。 また、今後のやや危機的な状況についても、市民と意識を共有し、共感を得ることが重要だという点にも大いに賛同する。下水道が市民生活にとってどのような役割を果たしているのか、その必要性や重要性を、市民にも実感してもらえるように丁寧に説明していくことが何より大切である。</p>	<p>下水道の役割や重要性について、市民の皆様により実感していただくため、<u>図や写真の見直しやコラム等の追加など、より丁寧にわかりやすくなるように修正を行いました。</u></p>

3 市会常任委員会でいただいた意見

- ・ 広報には様々な方法があるが、あたり前にある下水道があたり前じゃない時を想像するのは難しいため、しっかり取り組んでほしい
- ・ 八潮市の道路陥没事故のようなことが起きることも鑑みれば、もう少し長期的な視野にたった事業計画というものを考えていく必要がある
- ・ マンホール浮上など具体的な状況写真を掲載したことで施策の意義が伝わりやすい
- ・ 下水道の役割やしくみについてイラストの活用によりわかりやすくなっている
- ・ わかりやすくなっているが、配色等を工夫するとさらに良くなると思う

4 市民意見募集の実施結果

(1) 市民意見募集の実施概要

①実施期間 令和8年2月20日（金）から3月21日（土）まで

②周知方法 リーフレット配布

（市民情報センター、各区役所・土木事務所、マネジメント推進課）
横浜市ホームページの掲載

(2) 意見の提出状況と意見への対応

意見数：160件 提出者：144名

対応状況	説明	意見数
反映	ご意見を踏まえ、計画本編に反映したもの	14件
包含・賛同	計画本編と同趣旨又は賛同・評価をいただいたもの	20件
参考	個別事業に対するご意見で参考とするもの	22件
その他	横浜市政運営に関するものなど	104件

(3) 主な意見の内容

対応状況	主な意見
反映	<ul style="list-style-type: none">・ 財政ビジョンの記載がない。
包含・賛同	<ul style="list-style-type: none">・ 図表を効果的に使い、わかりやすくまとまっている。・ 水再生センターを統廃合して効率化してください。・ 大都市としてW-PPPにいち早く対応していただきたい。
参考	<ul style="list-style-type: none">・ 将来的な人口減少などによる、現在の施設能力に余裕分で、施設で周辺の下水道事業体から受け入れた下水や汚泥を処理すれば、施設の有効活用や収入の確保につながれるとともに、地域のリーダーシップをとることができると思われます。・ これまで減少していた企業債残高が今後急激に増加する。今後の金利リスクも踏まえると若い世代に負担を先送りしないでほしい。料金改定を行い、企業債の発行を抑制すべき。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 横浜市政運営に関すること

5 素案からの主な変更点

経営研究会や市民の皆様からのご意見等を踏まえ、局内での改めて内容の確認を行い、原案への反映や対応を行いました。

- ・ 施策のページ構成を変更
- ・ 取組内容について理解を深めていただくため、コラム等を追記
- ・ 写真や図、デザインをより見やすくわかりやすいものに修正
- ・ 累積資金残高の考え方及び財政ビジョンとの関連性について追記

6 今後のスケジュール

令和8年5～6月 市会報告
6月 策定・公表